

社協高齢者支援センター ～徘徊高齢者搜索模擬訓練～

高齢者支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続できるように支援しています。

田原市も他の地域と同様に高齢化率が上昇し、認知症患者も増加しています。認知症になっても、本人、介護をする家族、支えてくれる方々が安心して生活ができるような街づくりを目指しています。

その支援の一環として、年に1回、徘徊高齢者搜索模擬訓練を行っています。この模擬訓練は、その年の担当地域が主体となって実施され、校区自治会、地区民生委員、消防団、校区住民、警察署、消防署、市内の企業や介護事業所など、多くの方々に参加・協力しています。行政と市内3カ所の高齢者支援センターは、訓練が円滑に、そして有効なものになるように後方支援として関わっています。

これまで徘徊高齢者搜索模擬訓練は、清田小学校区、童浦小学校区、中部小学校区で実施しました。そして今年度は、赤羽根小学校区で開催予定です。

◆訓練の内容

- ・ 認知症の方の行動パターンの理解、接し方の練習
- ・ 徘徊高齢者見守りSOSネットワークの説明
- ・ 認知症の方が行方不明になったから、搜索願が出されるまでの流れについて説明、デモンストラーション
- ・ 搜索現地対策本部設置訓練の見学と参加
- ・ 仮想行方不明者を設定しての搜索訓練
- ・ 行方不明者発見時の連絡訓練等

この訓練を実施することで、田原市が行っている様々な対策や制度を知り、認知症への理解を深めていただくことができると思います。そして同時に、地域住民と関係機関が顔の見える関係をつくり、連携することで、安心して生活ができる街を築くことができると考えています。

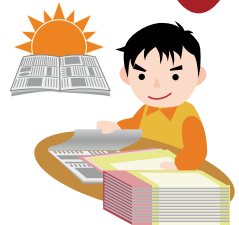
障害のある方が働く 職場の声

株式会社タカサキ新聞

業務内容

午前3時半、渥美線三河田原駅前のタカサキ新聞に出勤する鈴木さん。出勤後は、指示書を見ながら、各種ある新聞を配達順に組み上げます。配達用の新聞を組み上げ後は、自転車を担当する地区へ配達に出発。約1時間で配達を終え、会社に戻ります。

午前3時半	出勤
↓	新聞組み上げ
午前4時	配達
↓	
午前5時	退勤

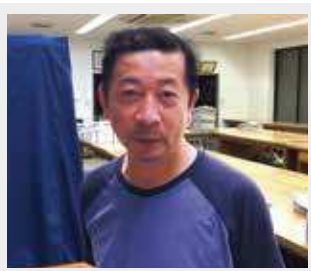


組み上げ作業



配達作業

鈴木さん 配布する数が増えたり、メール便の配達など新しいことにチャレンジできてうれしい。



上司 伊藤さん

1日も休まず仕事にきています。配達の順路を覚えたので、安心して任せられます。

障害のある方の就職を応援します

* 田原市社協就労移行支援事業所
☎ 27-6311

* 田原市社協相談支援事業所
☎ 23-0610